

科目名	実践と研究 (Evidence-based Practice)			科目コード	117
開講学科	看護学科・ 臨床検査学科	選択区分	必修	単位数(時間)	1単位(15時間)
科目区分	共通教育科目	履修時期	2年次後期	関連DP	看④⑥⑦、臨④⑤
担当教員	越智 百枝、檜枝 美紀、豊田 ゆかり、枝川 千鶴子、中平 洋子、徳永 なみじ、奥田 美恵、永井 さつき、荒川 裕也				
授業概要	前半では科学的根拠に基づく実践を行うために、実践と研究の関係、研究の基礎的な知識、文献検索の方法、文献クリティークの方法を教授する。 後半は、10人程度の小グループ(臨床・看護は別々)単位で、関心を持ったテーマについて文献クリティークを行い、どのように実践に活用できるかについて教授する。				
授業目標	<ol style="list-style-type: none"> 科学的根拠に基づく実践を行うために、実践と研究の関係、研究の基礎的な知識について理解する。 科学的根拠に基づく実践を行うために、文献検索や文献クリティークの方法を理解する。 既習の講義、演習、実習での体験を通して疑問に思ったこと、困ったことについて話し合い、グループでテーマを決めて文献検索する。 テーマに関連する文献を選出し文献クリティークを行い、実践への活用について検討する。 				

授業内容

回	項目	内 容	担当者
1	科学的根拠に基づく実践とは 科学的根拠の一つである研究の 基礎知識	ガイダンス 科学的根拠に基づく実践の3要素 研究の定義、研究の科学的水準、研究課題と研究デザイン(方法)の関連	越智百枝
2	テーマの明確化と文献検索のヒント	グループに分かれ既習の講義、演習、実習で疑問に思ったこと、困ったことについて話し合い、テーマを決定し、文献検索の準備をする。	担当教員全員
3	文献検索の方法	文献データベースの種類と特徴、 主題検索とキーワード検索、検索式 (演習)各種データベースの探索方法と結果表示の読み取り、履歴・絞り込み検索の実際	泉 浩 越智百枝
4	科学的根拠に基づく実践を行うための 文献活用	文献クリティークの方法	越智百枝
5～8	文献クリティークと実践への活用の 検討	講義開始までに、グループでテーマを決めて文献検索する。 テーマに関連する学術論文を3-4編選出する。 選出した文献を、クリティークし実践への活用について検討し、グループでまとめる。	担当教員全員
成績評価方法	講義時に提示する課題レポートの内容、及び文献クリティーク時のグループワークへの参加状況や成果として提出されたレポートにより評価する。		
教科書	牧本清子、山川みやえ：よくわかる看護研究論文のクリティーク第2版、日本看護協会出版会		
参考図書等	各授業の中で紹介する。		
授業時間外の学習について	課題レポートやグループ学習を課するため、時間外に毎回1時間程度の学習が必要である。		
関連科目	看護学科：209 基礎看護学実習Ⅱ、214 成人看護学急性期実習、215 成人看護学慢性期実習、218 老年看護学実習、222 小児看護学実習、226 母性看護学実習、230 精神看護学実習、236 地域看護学実習、248 看護研究、249 総合実習 臨床検査学科：449 医学検査研究		
備考			